

年度:2019年 LOM番号:0127
【褒賞申請書】

事業名称	復活！！剛情張大太鼓（ごうじょっぱりおおだいこ）
カテゴリー	最優秀LOM長期型地域開発プログラム部門

申請LOM	東北地区 青森ブロック 弘前青年会議所
LOMの人数	57名
理事長名	秋元 駿一
担当者名	専務理事 榎引 英揮
担当者携帯番号	080-3325-6612 担当者E-Mail h-kushibiki@ringosu.com
事務局住所	〒036-8343 青森県弘前市大字東長町47-2
事務局TEL	0172-34-4458 事務局FAX 0172-34-4497

本事業の参加者	会員数	37名
	関係者数	23名
	一般参加者数	19名
事業実施に至る背景 400文字程度	<p>私たちの地元、弘前市において毎年8月1日～7日の期間に行われている『弘前ねぷたまつり』。これは江戸時代から続く伝統的なおまつりであるが、個々に町内会で運行されていたものを、昭和26年（1951年）に弘前青年会議所がネプタコンクールを主催してから、合同運行の形式へと変化していった等、私たちが歴史的に深く関わっており、現在も会員の多くが町内会や団体の一員として参加している。</p> <p>しかし近年、この地域も少子高齢化の影響を受け、夏の風物詩である『弘前ねぷたまつり』の参加者が減少し、参加を断念せざるをえない団体もある。その中で、まつりを盛り上げる魅力がありながらも活用される機会の少なくなったものの1つに、平成元年、弘前市市政100周年記念につくられた『津軽剛情張大太鼓（つがるごうじょっぱりおおだいこ）』があった。後継者不足や太鼓本体の劣化等で2012年以降の運行が困難になったが、今一度存続の可能性を見出し、次の世代へと継承していく必要があった。</p>	

<p>事業目的</p> <p>400文字程度</p>	<p>弘前市内外の人たちに、多くの先人が造り上げた伝統文化である『弘前ねぶたまつり』を彩る『津軽剛情張大太鼓』の存在と、抱える問題を知ってもらい、弘前市及び各種関係団体と協働する中で、その存続の可能性を見出し次の世代へ継承する事を目的とした。</p> <p>また会員は、弘前市の伝統文化である『ねぶたまつり』と、『津軽剛情張大太鼓』の運営を通じて向き合う事で、弘前市の歴史や魅力を体感しながら理解をし、郷土愛をより一層深める事を目的とした。</p>																					
<p>SDG'sの該当項目</p>	<p>(SDG'sの該当項目を記載)</p> <p>11. 4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。</p> <p>17. 17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</p>																					
<p>事業概要</p> <p>400文字程度</p>	<p>① 『津軽剛情張大太鼓』の魅力と、抱える課題・問題点を公開練習の実施や『弘前ねぶたまつり』合同運行への参加・運営を通して幅広く周知。</p> <p>② 弘前市や関係団体と協働するなかで存続の可能性を見出し、次の世代への継承。</p> <p>③ 若い世代の叩き手を育成することで、『津軽剛情張大太鼓』のみならず、『弘前ねぶたまつり』への理解と愛着を深める。</p> <p>④ 合計14回の練習を実施し、そのうち2回を弘前市観光館での公開練習とし、技術の継承。</p> <p>⑤ 練習会に、過去、剛情張大太鼓に叩き手として参加していた方を招き、バチの作成方法やたたき方のコツ等の技術の継承。</p>																					
<p>開催期間・ タイムスケジュール</p>	<p>2018年8月1日 17:30~23:01</p> <table border="1" data-bbox="568 1361 1445 1977"> <thead> <tr> <th data-bbox="568 1361 810 1413">当日スケジュール</th> <th data-bbox="817 1361 1145 1413"></th> <th data-bbox="1152 1361 1445 1413"></th> </tr> <tr> <th data-bbox="568 1422 810 1458">時間</th> <th data-bbox="817 1422 1145 1458">項目</th> <th data-bbox="1152 1422 1445 1458">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="568 1467 810 1503">17:30</td> <td data-bbox="817 1467 1145 1547">委員会メンバー、叩き手集合</td> <td data-bbox="1152 1467 1445 1547"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1556 810 1592">19:00</td> <td data-bbox="817 1556 1145 1592">メンバー集合</td> <td data-bbox="1152 1556 1445 1637" rowspan="3">運行準備・各種打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1646 810 1682">19:30</td> <td data-bbox="817 1646 1145 1682">最終ミーティング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1691 810 1727">19:40</td> <td data-bbox="817 1691 1145 1771">コミュニケーションタイム</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1780 810 1816">21:26</td> <td data-bbox="817 1780 1145 1816">出陣</td> <td data-bbox="1152 1780 1445 1977" rowspan="2">上土手町から剛情張大太鼓をけん引でねぶた小屋へ移動</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1825 810 1861">22:06</td> <td data-bbox="817 1825 1145 1861">運行終了</td> </tr> </tbody> </table>	当日スケジュール			時間	項目	備考	17:30	委員会メンバー、叩き手集合		19:00	メンバー集合	運行準備・各種打ち合わせ	19:30	最終ミーティング	19:40	コミュニケーションタイム	21:26	出陣	上土手町から剛情張大太鼓をけん引でねぶた小屋へ移動	22:06	運行終了
当日スケジュール																						
時間	項目	備考																				
17:30	委員会メンバー、叩き手集合																					
19:00	メンバー集合	運行準備・各種打ち合わせ																				
19:30	最終ミーティング																					
19:40	コミュニケーションタイム																					
21:26	出陣	上土手町から剛情張大太鼓をけん引でねぶた小屋へ移動																				
22:06	運行終了																					

	<table border="1"> <tr> <td>22:18</td> <td>剛情張大太鼓ねぶた小屋 戻り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22:50</td> <td>剛情張大太鼓小屋搬入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>23:01</td> <td>担当委員長挨拶・記念撮影</td> <td></td> </tr> </table>	22:18	剛情張大太鼓ねぶた小屋 戻り		22:50	剛情張大太鼓小屋搬入		23:01	担当委員長挨拶・記念撮影	
22:18	剛情張大太鼓ねぶた小屋 戻り									
22:50	剛情張大太鼓小屋搬入									
23:01	担当委員長挨拶・記念撮影									
開催場所	弘前ねぶたまつり合同運行 土手町コース									
事業区分	新規									
公益・共益区分	公益事業									
事業総予算・収支	予算計: ¥210,000 支出計: ¥193,427 内訳として、燃料費¥710、賃借料¥50,000、保険料¥24,900 租税公課¥4,400、委託費¥70,000、衛生費¥16,500、雑費 ¥26,485、予備費¥432									
協力団体	共催	なし								
	協賛	OB、各種団体からの協賛金支援								
	後援	なし								
	その他	弘前市観光政策課（公社）弘前観光コンベンション協会 （一社）斜里青年会議所 …友好JC 太田市新田商工会青年部 …友好団体								
事業対象者	市民、観光客、会員									
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	(事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について記入) 2017年10月:委員会にて検討 11月:委員会にて検討 12月:関係各所に訪問し、挨拶 2018年 1月:企画打合せ 2月:企画打合せ 3月:企画打合せ 事業実施計画書(協議) 4月:企画打合せ 協賛金募集 事業実施計画書(協議) 5月:企画打合せ 協賛金募集 太鼓のたたき手募集 21日/前灯籠骨組み移動 21日/練習場所設営 事業実施計画書(協議) 運行時の備品準備 6月:企画打合せ 協賛金募集 事業実施計画書(審議)									

	<p>太鼓練習</p> <p>7月:企画打合せ 協賛金募集 10日/協賛金締切</p> <p>12日 公開練習</p> <p>22日 公開練習</p> <p>8月:1日/事業の実施</p> <p>お礼状配布 報告</p> <p>10月:事業実施報告書(協議)</p> <p>11月:事業実施報告書(審議)</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <p>太鼓の叩き手は20代の人達为中心となり練習や運行を行う事ができ、技術面での継承をすることが出来た。太鼓を叩く以外にも、叩くために革を張る作業、練習方法、太鼓を動かすコツ等様々な事を教えて頂き、継承することができた。</p> <p>運行の際も、『津軽剛情張大太鼓』が運行されなくなった経緯や今回運行した理由を本部からのアナウンスで観客への周知をはかることができた。</p>
<p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>この『津軽剛情張大太鼓』は、2012年以来6年ぶりの復活出陣という事もあり、地域のまつりである『弘前ねぶたまつり』を盛り上げる一端となった。また、たたき手として参加してくれた弘前大学の学生サークルとの繋がりが生まれたことで、連携継続の可能性を見いだせた。</p> <p>私たちの住まう地域に欠かせない夏の行事の魅力を再発掘することで、郷土愛を深め、地域社会文化を発信することが出来た。</p>
<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>現在の弘前青年会議所は、LOMの歴史を学ぶ機会が少なく、大方の会員が地元の『弘前ねぶたまつり』について、ほぼ無知な状態から始まった本事業だったが、太田市新田商工会青年部、斜里青年会議所等の友好団体、ならびに協力して頂いた皆様のおかげで無事に運行まで辿り着くことができたことで、今後も『弘前ねぶたまつり』に関わり続けるきっかけとなった。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業の期待される長期的な影響を記入)</p> <p>江戸時代から続く、無くしてはならないこの地域独自のまつりを彩る一つのコンテンツとして今後も関わっていくことで、この地域に住まう人々の共感を溢れさせ、持続可能なものとする事ができる。</p>

<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>叩き手、引き手の人材募集の手法をもっと考えて、より多く集まるようにするべきだったと考える。事業の持続可能性を考慮するにあたり、叩き手は専門的な技術を要することから、ある程度の幅広い世代が協力体制にあることが望ましい。運行管理者についても同様に考える。また引き手については、太鼓本体が大型であることから、最低でも40名以上の確保が必要かと考える。</p> <p>また、メンバーは子供の頃はまつりに参加していたものの、大人になってからは参加していないメンバーが多く、事業を通してもっと理解を深め、歴史と伝統を次世代につなげることを目指す意識を高める必要がある。</p>
<p>改善点</p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>叩き手の練習は、可能な限り行うことが望ましい。</p> <p>太鼓本体の動かし方に関する会議や、誘導などに関する事前講習を行うなどの対応があったほうが良い。</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>① JCI 活動計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IMPACT 影響力 ～地域社会が持続可能なインパクトを達成する事を可能にする。～ ・COLLABORATE 協力 ～同じ目標に向かうパートナーを結集し、相互インパクトを拡大する。～ <p>江戸時代から行われている「弘前ねぷたまつり」への参加協力のもと、当事業を通じ、同じ目標に向かう能動的市民と協働しながら「津軽剛情張大太鼓」の運行を復活させた。平和な社会に向けて、小さくても、地元根付いている、確実な行動をとることを促し、持続可能な解決策を生み出す可能性を向上させた。</p> <p>② JCI VISION 活動計画の推進</p> <p>～青年の行動的市民活動を支援する国際的なネットワークをもつ先導的機関となる。～</p> <p>当事業は、太鼓の練習から運行管理まで、行動的市民との協働を通じ、北国青森のみじかい夏の季節を彩り、参加者・市民の愛郷心とまちづくりへの意識の向上と、伝統文化の次世代へ継承を目的とした。</p> <p>③ JCI MISSION 活動計画の推進</p> <p>～青年が、積極的な変革を創造し開拓するために能動的な活動ができる機会を創造する。～</p>

	<p>少子高齢化や担い手不足により、6年もの間運行を休止していた「津軽剛情張大太鼓」の復活運行は行政だけでは解決できない状況にあったが、当事業を通して参加者・市民へポジティブ・チェンジの機会を提供した。</p>
<p>添付資料</p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事 平成 30 年 8 月 2 日付 陸奥新報 ・事業風景写真等 ・津軽剛情張大太鼓運行隊列図

こいつ... 動くぞ！

復活！！剛情張大太鼓

公益社団法人弘前青年会議所は2018年8月1日水曜日に「復活！！剛情張大太鼓」を弘前ねふたまつり土手町運行コースにて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この復活！！剛情張大太鼓は、市内外の人に先人達が造り上げた伝統文化である剛情張大太鼓の存在と、抱える問題点を知ってもらい、市及び各種団体と協働する中で存続の可能性を見出し次の世代へ継承する事を目的として開催されました。太鼓の叩き手は20代の人達を中心となり練習や運行を行う事ができ、技術面での継承をすることが出来たといえます。太鼓を叩く以外にも、叩くために革を張る作業、練習方法、太鼓を動かすコツ等様々な事を教えて頂き継承することができました。また、運行の際も剛情張大太鼓が運行されなくなった経緯や、今回運行した理由を本部からのアナウンスで観客への周知もできたという結果、目的を達成する事ができました。

復活！！剛情張大太鼓とは？

詳細な事業内容

期日：2018年8月1日

会場：青森県弘前市 弘前ねふたまつり 土手町運行コース

(事業内容)

- ① 剛情張大太鼓の魅力と、抱える課題・問題点を公開練習の実施やねふたまつり合同運行への参加を通して広く周知した。
- ② 市や関係団体と協働するなかで存続の可能性を見出し、次の世代へ継承した。
- ③ 若い世代の叩き手を育成することで、剛情張大太鼓のみならず、ねふたまつりへの理解と愛着を深めた。
- ④ 計14回練習実施し、内2回を観光館での公開練習をし技術の継承をした。
- ⑤ 過去に剛情張大太鼓に叩き手として参加していた方を呼び、バチの作成方法やたたき方のコツ等の技術継承をした。

